



Määg Audio EQ4 プラグインをご利用いただき、ありがとうございます。

EQ4 は、Määg Audio が最初に発売したプラグインです。Brainworx との強力な連携のもと、Cliff Maag Sr によってデザインされた Määg Audio の 500 シリーズ・モジュールに基づいてモデリングされました。EQ4 は、Cliff が何年も前に開発した EQ3 の後継機種です。

Määg EQ4 は、David Reitzas、Dylan Dresdow、Dave Pensado 等にボーカル用 EQ として愛用されました。(Madonna、Celine Dion、Black Eyed Peas、Justin Timberlake、Barbara Streisand 等)

スウィープ式の AIR BAND® と SUB バンドは、アナログとデジタル領域の両方においてシルキーでオープンなハイエンドとローエンドの新しいスタンダードを設定しました。David Reitzas、Dylan Dresdow、Dave Pensado や その他大勢のエンジニアがミックスしたヒットソングのボーカルやマスターバスで AIR BAND® のサウンドを聴くことができます。

EQ4 のベーシック・コンセプト

EQ4 は信号やミックスの自然なサウンドをキープしながら、比類の無い透明感とトップエンドのプレゼンスを提供します。

EQ の調整は、最小のフェイズシフトで得られ、AIR BAND®を含む帯域のすべてで加算プロセスを行うときに相互作用を行います。

お好みの帯域のゲインを調整することで信号全体のゲインにも影響を与えます。これは設計上必要な副産物であり、設計上通常の動作です。

この動作を補填するために全体的なゲインを小さくするためにレベルトリム(プラグイン版のみ)を使用することができます。

ゲインコントロールについて(ハードウェア & ソフトウェア):

各バンドパスと Air バンドが合算されることは、入力される信号の整合性が保たれることを保証する設計上の重要な部分と言えます。全 5 つのバンドパスノブを同じ量にすると EQ4 は同じ EQ シェイプを保ちます。

全 5 ゲイン・ノブを 2 クリック分下げると同じ EQ カーブ分の低いレベルを提供します。これは 1 つの帯域をブーストする代わりに他の 4 つの帯域を下げることで同じ結果を得ることを意味します。

または全体のゲインを下げるためにプラグイン版ではレベルトリムを使用することが可能です。(プラグインのみ)

各バンドパスとエアバンド® が Määg Audio EQ4 上でどのように相互作用が起きるか理解することがより良いサウンドを作るための近道です。



#### フォーマット

UAD-2 Määg EQ4 プラグインをインストールすると他の UAD-2 プラグインと同様に操作することができます。システム要件等に関する一般的な情報については、[www.uaudio.com](http://www.uaudio.com) をご確認ください。

#### 使用に際してのヒント

EQ4 と AIR BAND<sup>®</sup> の感触を得るためには、最初にボーカルチャンネルや複雑なステレオミックスに EQ4 を使用することをお勧めします。

#### プリセット

プラグインを使用し始める際の出発点としてリファレンスとなる便利なプリセットを用意しています。

#### サブ (10Hz)

このバンドは超低域の周波数をコントロールします。もたついた音を取除くためにカットしたり、低いキックドラムやベースを強調するために使用することができます。

#### 40Hz

40 Hz バンドは、ミックス内でローエンドをオープンにし、ブーストした際にはバスドラムの迫力を増し、ベースをスムーズに際立たせます。

#### 160 Hz

声の共振(レゾナンス)を軽減させたり、ナレーターの声を強調するために 160Hz を加えてください。ロックやポップスのミックスでベースやバスドラムのパンチをコントロールするために使用することができます。

#### 650 Hz

ボーカルトラックでこの帯域をブーストすると歌詞が分かりやすくなり、カットすると音が遠くなります。マスター上でこの帯域をブーストすると高域をアグレッシブにすることなくミックスにパワーを与えます。

#### 2.5 kHz

ボーカルの輪郭やロックギターサウンドのアタック、またはミックスのミッドレンジをコントロールするために非常に重要な帯域です。

#### AIR BAND<sup>®</sup>

周波数スウィープ: 2.5、5、10、20、40 kHz

オリジナルの信号に艶のある高域を加え、この帯域に広がりや充実度を加えます。より高い周波数を選択するとハイエンドはよりスムーズになります。